

Japanese B – Standard level – Paper 1
Japonais B – Niveau moyen – Épreuve 1
Japonés B – Nivel medio – Prueba 1

Friday 8 May 2015 (afternoon)
Vendredi 8 mai 2015 (après-midi)
Viernes 8 de mayo de 2015 (tarde)

1 h 30 m

Text booklet – Instructions to candidates

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for paper 1.
- Answer the questions in the question and answer booklet provided.

Livret de textes – Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

Cuaderno de textos – Instrucciones para los alumnos

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

問題 A

かんきょうの問題をまんがで説明

かんきょうの問題についての まんが本が できました。かんきょうしょうは毎年「かんきょう白書」を出します。このまんが本は、そのテーマを簡単に説明しています。特に、リサイクルすることの大切さを教えています。まんが本は、「サイボーグ 009」をかいた石森プロが ^{きょうりょく}協力しました。



話は、今まで大人気だったロボットが ^{ぼめん}すてられる場面から始まります。主人公の ^{いちろう}一郎は、ロボットと ^{ほうほう}いっしょに、ロボットを ^{ほうほう}すてない方法を いろいろ考えます。そして、ある日、すてられたロボットが ^{ぼめん}みんな動き出すのです。

このまんが本は一部 400 円で本屋で買うことができます。 ^{じせだい}次世代の子どもたちのために書かれていて、小中学生でも読めます。ホームページでは、石森プロの人気キャラクター「ロボコン」が、このまんが本を ^{しょうかい}しょうかいしています。

問題 B

これが日本一おいしい給食だ



東京都の足立区は「日本一おいしい給食」を^{めざ}目指しています。足立区の学校の給食の様子を見てみました。

全員で「いただきます！」と言うと、生徒は ^{みんな}みんな おいしそうに食べ始めました。今日のメニューはカツどん、みそしる、ぶどうと ^{ぎゅうにゅう}牛乳 でした。生徒は「給食は とてもおいしいです。いつも全部食べます。」と言いました。先生は「生徒は ^{みんな}みんな給食の時間を楽しみにしていて、じゅんぴや ^{かたづけ}かたづけも手伝います。」と話していました。

足立区の学校では、それぞれの学校で給食を作りますから、それぞれの学校の給食のメニューが ^{ちが}ちがいます。2008年に区が給食の食べのこしを調べたとき、一年間で346.2トンにも ^{なる}なることが分かりました。それで、「日本一おいしい給食」を^{めざ}目指すことにしました。現在の給食には外国の料理も ^{とり}取り入れています。また、有名シェフも給食のレシピ作りを手伝っています。さらに、授業でも ^{しょくざい}食材について勉強します。家での食事も大事なので、家庭むけのレシピもウェブサイトにもせています。

区の^{つかはら}塚原さんは、「けんこうな生活をするには食事が大切です。食事について学ぶことは、生徒の『生きる力』を育てることに ^{つな}つながります。」と説明していました。

^{さんこう}参考：2011年10月19日づけ 朝日小学生新聞

問題 C

ザ・^{ぎょうてん}仰天！^{えど}江戸ロジ



- ① この番組は物をむだ使いしない生活をしようかとする教育番組です。
- ② ^{あんない}案内は^{せきね}関根さんと^{まなべ}真鍋さんです。二人は東京の下町を歩いて、数百年前の^{えど}江戸時代にタイムスリップしてしまいます。
- ③ 5 ^{えど}江戸の町では、町人はいろいろくふうして、「エコ生活」を送っていました。【-例-】、必要な物を必要なときだけ借りる店がありました。現代の^{げんだい}ことばで言うと、「レンタルショップ」ですが、そこでは、ふとんやなべ、かさなどを借りることができたのです。また、江戸時代は火事が多かったのです【-24-】、火事で^{もくざい}やけた家の木材はおふろをたくときに利用されていました。【-25-】、江戸時代には、^{しゅつぽん}世界でもめずらしいほど多くの書物を出版していました。【-26-】、紙をたくさん使いましたが、森林は、はかいされませんでした。【-27-】、この番組でしようかしています。
- ④ 15 この番組は日本の「もったいない」^{せいしん}精神の原点が江戸時代^{えどじだい}にあったとしています。そして、現代の人が江戸のエコ生活から学べることをいろいろしようかしています。物や人を大切にする江戸時代^{えどじだい}の心——これは今の社会にも必要な事でしょう。

問題 D

ハウス・オブ・ジョイ

- ① ハウス・オブ・ジョイは、親がいない子どものための家です。マネージャーは日本人で、フィリピンのミンダナオ島にあります。現在、37人の子どもたちが生活しています。ハウス・オブ・ジョイは1997年8月、^{からすやま}鳥山さんが始めました。
- ② スタッフは毎朝子どもと いっしょに ご飯を食べてから、「いってらっしゃい」と学校へ送り出します。子どもは、みんな公立の小学校や中学校に通って、10年の教育をうけます。スタッフは午後、「お帰りなさい」と子どもを むかえ、いっしょに そうじや洗濯^{せんたく}をします。ひまなとき、映画を見たり、海で遊んだり、遠足に行ったりしながら、18才まで子どもを家族として育てます。
- ③ ハウス・オブ・ジョイで一番大事にしていることは、「あい」の教育です。みんなで いっしょに遊ぶこと、こまっている人を助けること、新しい友だちを作ることが「あい」です。まずしさから ぬけ出すことは、お金持ちに なることではありません。あいの ある生活をするのです。そして、今までは めぐまれなかった子どもに、しあわせに なってもらいたい —— それがハウス・オブ・ジョイの ゆめです。

